



# TOKYO 2020

## 東京2020×持続可能性

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

東京 2020 大会の持続可能性コンセプト

# Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

# 1. 持続可能性とは

# 「持続可能性」に取り組むとは？

ざっくり  
言うと

今のことだけではなく、  
将来の人々や地球の未来のことを見て、  
環境問題や人権問題などの課題に取り組むこと。

# 世界が直面している「持続可能性」の課題

## 【気候変動】



極端な気温



降水・極端な降水



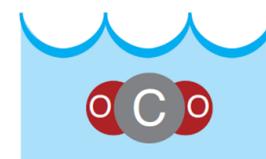
乾燥傾向



破壊的な台風、  
発達した低気圧



海面上昇



海の酸性化

## 【生物多様性】



開発や乱獲による種の減少・  
絶滅、生息・生育地の減少



外来種などの持ち込み  
による生態系のかく乱



里地里山などの手入れ不足  
による自然の質の低下



地球環境の変化による危機

地球の気候や生物の生息環境に大きな変化が起きています。

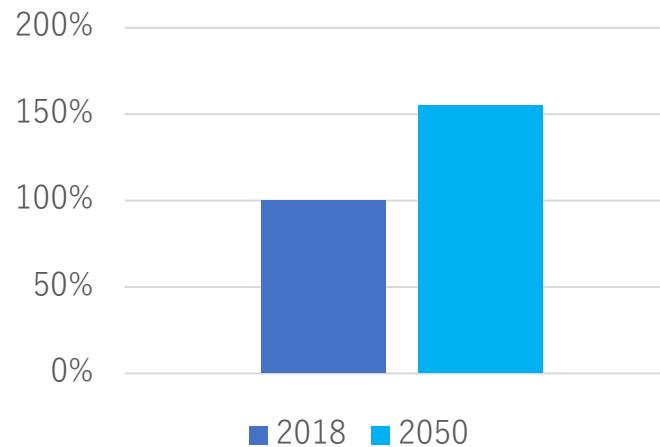
<出典> 気候変動：環境省ウェブサイト「地球温暖化防止コミュニケーター事業」

生物多様性：環境省ウェブサイト「生物多様性に迫る危機」

写真提供：米持千里、株式会社千葉農産、関東地方環境事務所、鍵井靖章

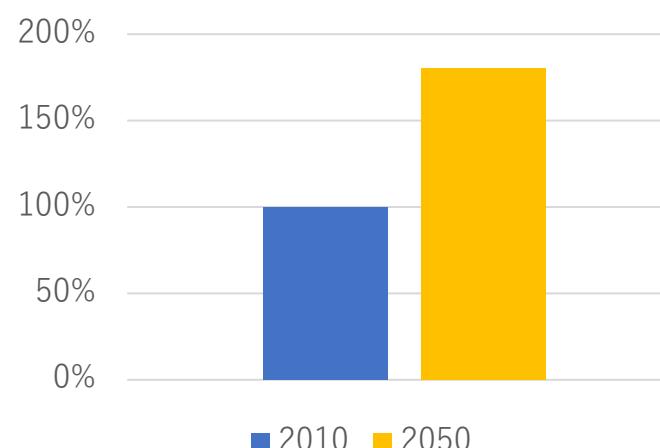
# 世界が直面している「持続可能性」の課題

## 【水の需要】



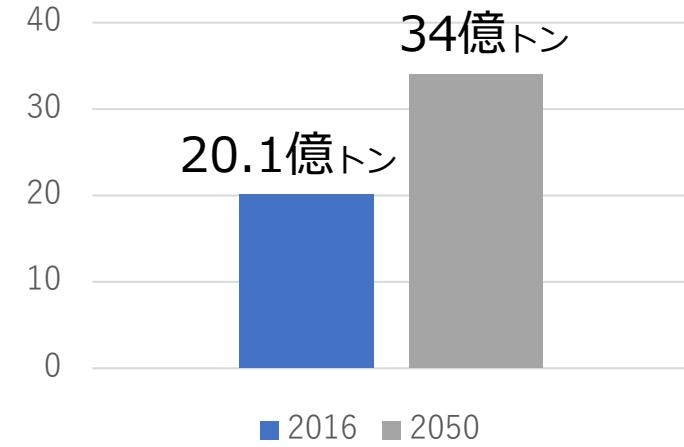
世界の水需要は  
2050年までに **55%増加**

## 【エネルギー使用量】



世界のエネルギー使用量は  
2050年までに **80%増加**

## 【ごみの量】



世界の廃棄物は  
2050年までに **70%増加**

**対策が講じられない場合、使用する天然資源やごみの量は、  
大きく増加してしまいます。**

<出典> 水：国連広報センター 水と衛生に関するファクトシート（2018年3月21日）

エネルギー：OECD「OECD環境アウトロック2050」（2012年3月15日）

ごみ：世界銀行「What a Waste 2.0 : 2050年に向けた世界の廃棄物管理の現状と展望」（2018年9月20日）

# 最近ではこのような問題も

## 【海洋プラスチック問題】



毎年、**最大1,300万トン**もの  
プラスチックが  
川や海に流れています。

私たちが捨てるプラスチックは、  
**1年間に地球を4周することも**  
あります。

**海洋ごみの50%**が  
使い捨てプラスチック製品です。

<出典> 国連広報センターウェブサイト

**このままでは、海洋に漂うプラスチックごみの量が、  
2050年にはすべての魚の重さを上回ると言われています。**

<出典> 世界経済フォーラム報告書（2016年）

# 世界が直面している「持続可能性」の課題

## 【様々な人権の課題】

### 紛争下の人権

紛争下では、異なる民族や宗教などの人々を対象に、女性や子供への暴力をはじめ、様々な人権侵害が発生します。

### 市民的、政治的権利

世界には、法の前の平等や、移動、思想、表現の自由、選挙への参加などの権利が十分に守られていない人々がいます。

### 少数者の権利

少数の民族、宗教、言語などに属する人々の多くが差別の対象となっています。性的少数者の人々への人権侵害も深刻です。

### 社会的、経済的、文化的権利

公正な労働条件や、社会保障、心と体の健康、教育などを受ける権利が十分に守られていない人々がいます。

国内外で、そしてあなたの身近なところでも、  
様々な人権の課題があります。

# 世界全体で取り組む持続可能な開発目標（SDGs）

2015年に、国連で17の目標が定めされました。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「誰一人、取り残さない」社会の実現に向けて、  
世界中で取り組みが始まっています。

# これらの課題はつながっています

## 【課題の例】



<出典>

飢餓人口：国連世界食糧計画（WFP）「世界の食料安全保障と栄養の現状」（2019年）  
食品ロス：国連食糧農業機関（FAO）「世界の食品ロスと食料廃棄」（2011年）

**持続可能性**は、これらの背景を基に  
ますます重要になってきています。

言いかえれば、

**未来のために全員で取り組むべき大きな課題** です。

世界中の国、企業や団体、そして個人が  
できることを考えていかなければなりません。

知ろう！

考えよう！

行動しよう！

## 2. 「スポーツ」 × 「持続可能性」

# 「スポーツ」×「持続可能性」

例えば、気候変動により、海岸の浸食が進み、降る雪が減れば、  
海や雪の中で行う競技はできなくなるかもしれません。

また、差別によりスポーツをする機会が奪われたり、スポーツの中で差別やハラスメントが  
あってはいけません。スポーツをすること自体が、人権の一つです。

他にも、観客の移動、資源やエネルギーの消費、食事の提供、  
競技に必要な会場や物品を作るための労働環境など、環境や人権に深い関係があります。

発信力のあるアスリートや多くのファンの存在、メディアによる発信などにより、  
スポーツは、人々が社会問題に気づくきっかけにもなります。

特に、持続可能性に大きな影響をもたらすメガスポーツイベントには、  
国際的にも持続可能性への一層の配慮が求められています。



スポーツには、持続可能性と深い関係があります。

# 「スポーツ」×「持続可能性」

## 東京2020大会ビジョン

スポーツには  
世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、  
「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)」、  
「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」、  
「そして、未来につなげよう(未来への継承)」  
を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、  
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

東京2020も、スポーツの力で持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 3. 「東京2020」×「持続可能性」

# Be better, together



より良い未来へ、ともに進もう。



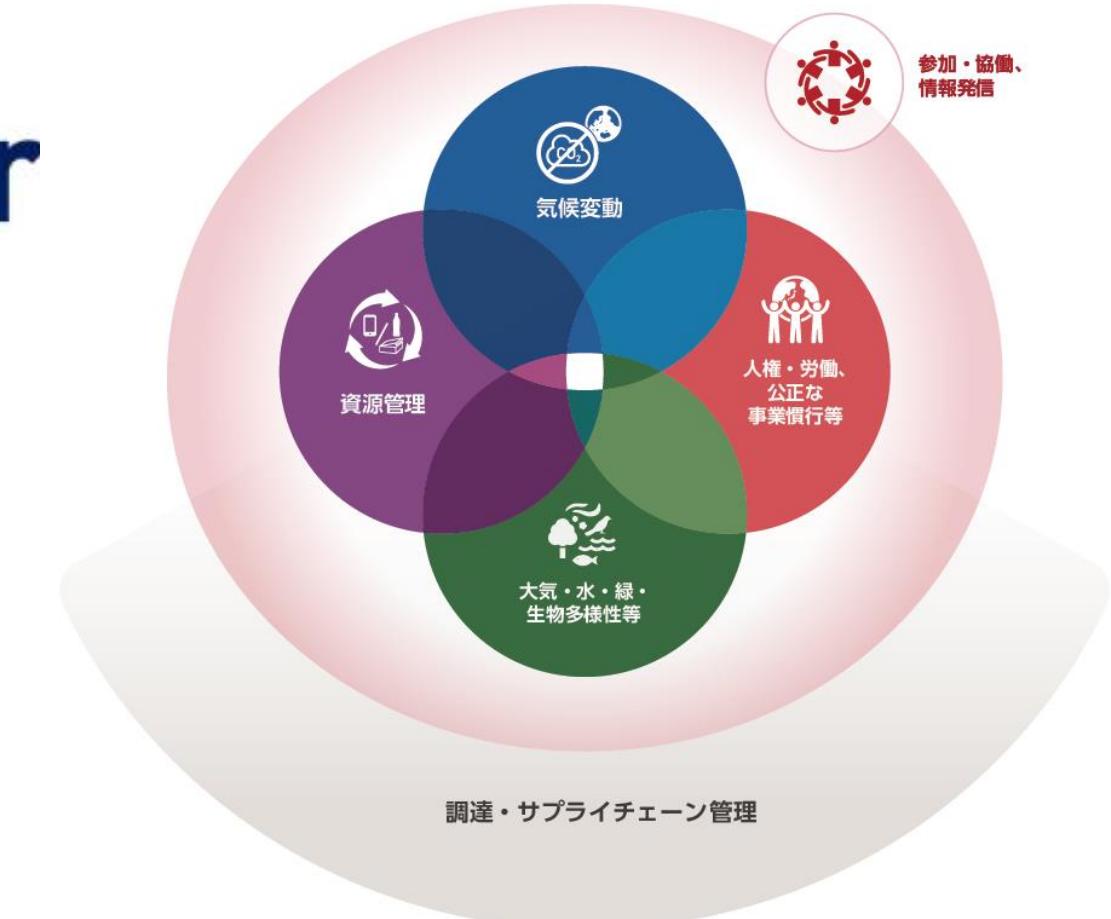
# 「東京2020」×「持続可能性」

東京 2020 大会の持続可能性コンセプト

## Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

東京2020は、大会に関わる様々な方々とともに、  
地球温暖化や資源の枯渇、生物多様性の損失などの  
環境問題の解決や、全ての人々の人権が尊重される  
社会づくりに貢献していきます。



東京2020大会の持続可能性の  
5つの主要テーマ

# 5つの主要テーマとSDGs

東京2020大会では、持続可能な大会の準備・運営に向けて、取り組むべき5つの主要テーマを定めています。この5つの主要テーマ及び取り組みは、持続可能な開発目標（SDGs）と広く関連しています。



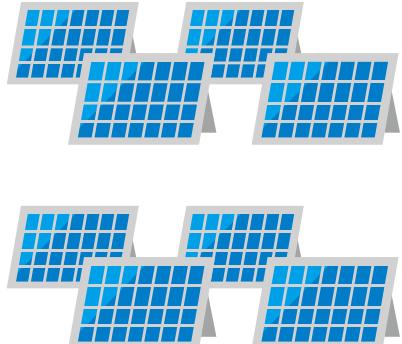


# Towards Zero Carbon -脱炭素社会の実現に向けて-

## 再生可能エネルギー電力の利用

競技会場、選手村、  
国際放送センター/メインプレスセンターにおいて、  
再生可能エネルギーを100%使用

再生可能エネルギー



競技会場



## 低公害・低燃費車の利用

燃料電池自動車(FCV)や電気自動車(EV)などの  
低公害・低燃費車両を導入



FCV 約500台導入



EV 約850台導入



大会後の再エネ電気の社会的ニーズの高まり、  
再エネ設備の導入・拡大への貢献

排気ガスを出さないゼロエミッション車(ZEV)に  
より環境負荷を低減し、水素社会の実現にも貢献



# Zero Wasting -資源を一切ムダにしない-



## 都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト

約5,000個のメダルを国民の  
使用済み小型家電からつくる



都市に眠る金属「都市鉱山」を  
活用する循環型社会づくりに貢献

## 日本の木材活用リレー

63自治体から借り受けた木材で  
選手村の施設を建設し、  
大会後に木材を各地で再利用



- ・国産木材を使い、林業再生や  
森林保全に貢献
- ・再利用により環境負荷を低減し、  
大会のレガシーに

## みんなの表彰台プロジェクト

家庭から出るプラスチック等を  
集めて表彰台をつくる



使い捨てプラスチック活用の  
新しいモデルを国内外に発信



# Zero Wasting -資源を一切ムダにしない-

12 つくる責任  
つかう責任



## 調達物品の99%リユース・リサイクル

レンタル・リースや物品の再販を行うとともに、  
大会関係者が連携して物品の後利用を推進



トイレユニット・  
テントのレンタル事例

新たな物品の製造と廃棄物の発生を抑制し、  
環境負荷を低減

## 運営時廃棄物の65%リユース・リサイクル

大会に関わる一人ひとりの参加により、  
ごみと資源を適切に分別してリサイクル



大会開催中に発生する廃棄物について  
質の高い資源循環を実現



# City within Nature/Nature within the City -自然共生都市の実現-

## 競技会場におけるろ過施設の導入

新設競技会場において、ろ過装置を導入し、  
水資源を有効利用



## 競技会場等における生き物の生息・生育空間の確保

既存の緑との連続性を踏まえ、気候や風土に  
適した樹種等により新たに緑化



大会における水循環に配慮

豊かな生態系ネットワークを創出





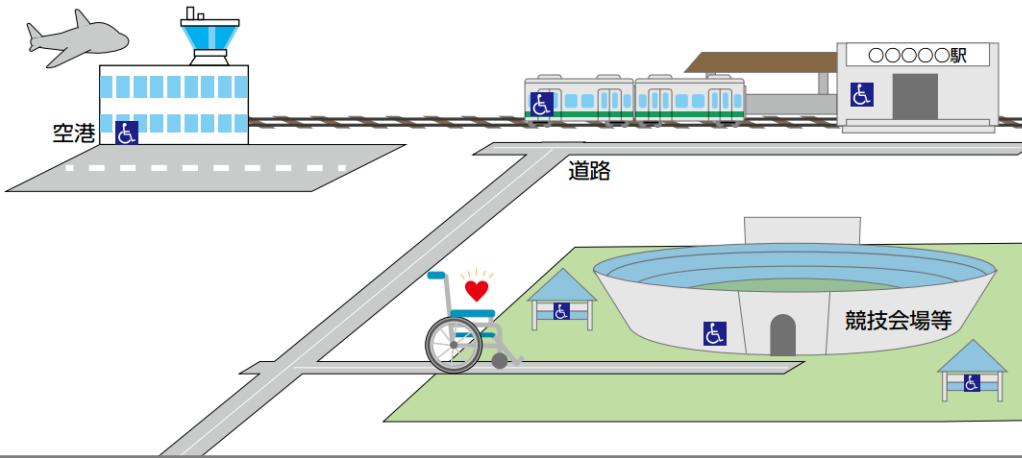
# Celebrating Diversity –多様性の祝祭–

～国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に則した人権の保護、尊重及び救済～



## Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドライン

障がいの有無等に関わらず、全ての人に対して会場までの一貫したアクセシビリティ\*の確保



**誰もが住みやすい施設・街づくりを実現**

\*アクセシビリティとは、障がいの有無に関わらず、幅広い年齢の人々が、施設、サービス等にスムーズにアクセスし、利用可能なことを意味する

## ダイバーシティ & インクルージョン\*の推進

あらゆる差別・ハラスメントを受けることなく、世界中から訪れる多様な人々が、お互いの違いを認め合いながら、一緒に楽しめる大会を実現

**Know Differences,  
Show Differences.**

ちがいを知り、ちがいを示す。

**ダイバーシティ & インクルージョンの意識が社会に浸透し、多様な社会を実現**

\*ダイバーシティは、“多様性”、“一人ひとりの違い”、インクルージョンは、“包括・包含”という意味を持ち、多様性を尊重した上で一人ひとりが力を発揮し、多様な人々が互いに影響し合い、異なる価値観や能力を活かしあうことでイノベーションを生み出し、価値創造につながることを意味する



# United in Partnership & Equality -パートナーシップによる大会づくり-

## 国際連合・ILOとの連携

国際機関と連携し、SDGsの啓発やディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進



国連広報センターと連携した  
「開発と平和のためのスポーツ  
の国際デー」記念イベント



ILO（国際労働機関）  
との協力による  
サステナビリティ・フォーラム



## 東京2020 復興のモニュメント

被災地から世界へ

「感謝・応援～支援への感謝や選手への応援の気持ちを伝える～」  
世界から被災地へ

「感謝・感動～応援への感謝やスポーツのもつ力を被災地に届ける～」  
をコンセプトに、被災地の仮設住宅の窓等のアルミ建材を再利用して  
モニュメントを制作



岩手県、宮城県の  
デザインイメージ



福島県のデザインイメージ



国際機関と東京2020が相互に協力し、  
大会をきっかけに国内外の人々の意識を啓発

- ・被災地と世界の双方向のコミュニケーション
- ・大会後は、被災地でレガシーとして継承

# 聖火リレートーチ、ユニフォームにおける持続可能性

## 聖火リレートーチ



聖火リレーのトーチに東日本大震災の復興仮設住宅のアルミを再生利用



オリンピックトーチ



パラリンピックトーチ

## ユニフォーム

「暑さ対策・持続可能性・多様性」を重視  
再生ポリエステル材や植物由来材を使用



フィールドキャスト  
(大会スタッフ)



シティキャスト  
(都市ボランティア)

人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、  
平和のシンボルとしてトーチに姿を変え、  
復興に向けて進む被災地の姿を世界に発信

資源の循環に加え、様々な年代、性別、国籍の方々が  
快適に活動できるよう配慮



# 持続可能性に配慮した製品やサービスの広がり

東京2020組織委員会は、大会の準備のために調達する製品やサービスの供給過程（サプライチェーン）において、環境保全や人権の尊重、適切な働き方などが確保されるよう、事業者に求めています。

例えば、会場建設に使う木材には、適法に伐採され、環境や社会への配慮が確認された木材を使うこととしています。

このような事業者の取り組みを後押しするためには、消費者である皆さんの役割がとても大切です。

東京2020大会を契機に、安さや便利さだけでなく、持続可能性の観点から製品やサービスを選択する動きが広がることが期待されています。

## 大会の取組事例



環境保全や労働安全などに配慮して生産された食材を使用

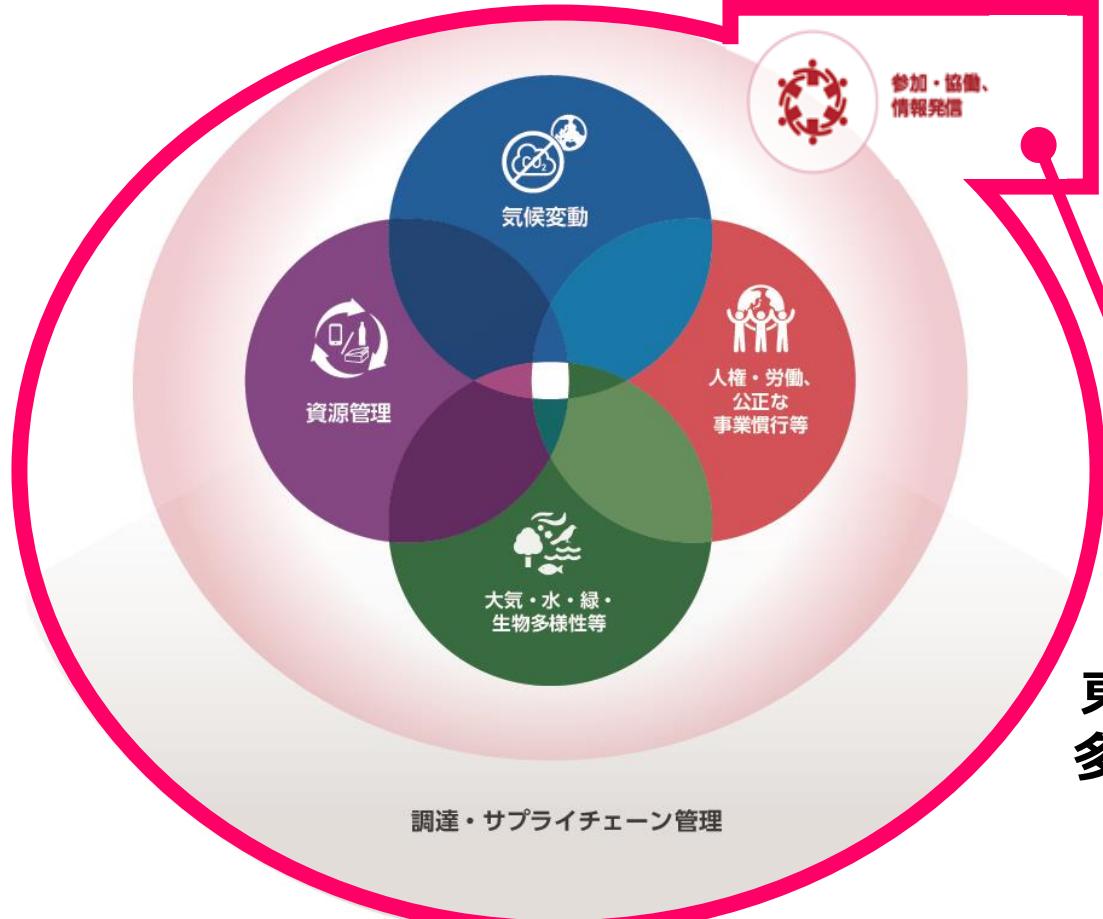


競技会場において、森林認証材等の持続可能な木材を使用

## 4. 東京2020の持続可能性と皆さんとの関わり

# 東京2020の取り組みと皆さんとの関係

## 【東京2020大会の持続可能性の5つの主要テーマ】



東京2020大会の取り組みは、  
多くの方々の参加と協働により  
進められています。

東京2020大会の持続可能性には、  
**「皆さんと共にできること」** がいくつもあります。

# 東京2020を通じて皆さんと共にできること

大会前

大会中

大会後

## 市民による CO<sub>2</sub>削減・吸収活動



大会をきっかけに、CO<sub>2</sub>を減らすための  
省エネを始めよう

## 小型家電のリサイクル



メダルプロジェクトをレガシーとして  
小型家電リサイクルに取り組もう

## プラスチックの3R



表彰台プロジェクトをレガシーとして  
プラスチックの3R  
(リデュース・リユース・リサイクル)  
に取り組もう

## ダイバーシティ & インクルージョン

Diversity & Inclusion

人種・価値観・障がいの有無に関わらず、  
自分らしく輝こう  
大会や身の回りで、お互いの違いを認め合  
い、自分らしく輝いている人を応援しよう

# 東京2020を通じて皆さんと共にできること

大会前

大会中

大会後

## みんなに伝えよう～成果を未来に

- ・ 地域スポーツ×地域づくり
- ・ アクセスしやすい、心地よいまちづくり
- ・ 誰もが価値観や違いを受け入れ、  
能力を活かす社会
- ・ ごみの削減、リユース、リサイクル
- ・ パラスポーツの応援
- ・ 自宅やオフィスでの省エネ

東京2020大会をきっかけに、自分が感じたことを  
家族や友達と振り返ってみよう

## みんなの「サステナビリティ宣言」

わたしが続けていきたいのは、

です。

「これならできるかも」と思うことを  
書いてみよう  
そして、できることを続けていこう

## もっと学ぼう、行動しよう



暮らしを支える製品がどのように  
作られているかなど、関心を持ったことを  
もっと学んで、行動してみよう

# 5. おわりに

“未来を生きる大切な人達”を幸せにするために

“今の私達”は何をするべきか？

東京2020は、  
皆さん一人ひとりが気づき、動き出すきっかけを作るという  
大会のレガシーを残すことができたら、  
本当に未来と世界を変えられるかも知れないと考えています。

# Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。

© 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※本資料に掲載されている全ての内容に関する権利は、当法人に帰属するか、ライセンスに基づいて使用しております。よって、本資料に掲載されている全ての内容について、無断転載・複製・改変することを固く禁止いたします。

※本資料に掲載の内容は、2020年4月30日時点のものです。